

令和4年度札幌市アイヌ施策年次報告書

札幌市

令和4年度札幌市アイヌ施策の実施状況

札幌市においては、令和3年3月に策定した「第2次札幌市アイヌ施策推進計画」に基づき、基本理念である「アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現」を図るため、以下の施策目標を定め、アイヌ施策推進法の基本理念などを踏まえながら、関係機関等と連携を図り、各種のアイヌ施策を実施している。

令和4年度は、引き続き各種事業に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、一部事業を中止するなどの影響を受けた。

施策目標1：アイヌ文化の保存・継承・振興

推進施策1：アイヌ文化の継承と人材育成

1 アイヌ文化継承関係の担い手育成講座の実施

アイヌ文化を継承していくための仕組みづくりについて検討を行うため、令和3年度に札幌アイヌ協会及び札幌大学ウレシパクラブの協力のもと、アイヌ民族を対象としたアンケートを実施。その結果を踏まえて令和5年3月25日（土）に講座「アイヌ工芸の広がりと未来」を開催。（参加者：15人）

2 アイヌ文化振興・保存・伝承活動への補助

アイヌ民族の若い世代の交流促進やアイヌの子弟に対する学習支援、アイヌ文化に関する啓発活動などといった札幌アイヌ協会が実施する事業に対して補助を行った。

3 インカルシペ・アイヌ民族文化祭への補助

例年、札幌アイヌ協会が開催するペウレアイヌの集い、ムックリ・トンコリ大会、アイヌミュージックコンサート、アイヌ民族の生活文化や歴史等に関するパネル展示に対し補助を行っている。令和4年度についてはムックリ・トンコリ大会、アイヌミュージックコンサートが開催された。

推進施策 2 : アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生

1 イオル再生事業の実施

アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生事業として、伝承活動に必要なとなる植物や穀物などの自然素材の育成及び伝統文化の体験イベントを実施した。

(1) 自然素材の育成

清田区内の市有地において自然素材の栽培及び育成管理を行った。

(2) 体験講座の開催

令和4年度は以下の3講座を実施した。

ア 民具づくり（アットゥシを用いた小物入れ制作）：2回実施（参加者30人）

イ 伝統料理調理：4回実施（参加者：48人）

ウ 子ども遊び（弓矢作り）：2回実施（参加者：26人）

2 アイヌ共用林野設定

令和5年度から国有林野においてアイヌ文化の振興等に利用する林産物を採取するため、石狩森林管理署との間で契約を締結した。

施策目標 2 : アイヌ民族に関する理解の促進

推進施策 1 : アイヌ民族に関する啓発活動の推進

1 アイヌ文化体験講座（市民向け）の実施

刺しゅう、木彫り等の体験講座を実施した。

開催場所：アイヌ文化交流センター、区民センター（中央、北、白石、西）、北海道大学構内

年度	開催回数	参加者
H30	16回	216人
R1	15回	180人
R2	19回	242人
R3	6回	68人
R4	16回	219人



2 大型イベントと連携した情報発信

例年、夏まつりやオータムフェスト等のイベントの開催に合わせて、アイヌ民

族の伝統的楽器の演奏や歌、踊り等を披露しているが、令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、大型イベントにおける活動は実施できなかった。

3 アイヌアートモニュメントの制作・展示

アイヌ民族の文化に対する市民理解の促進を目的として、アイヌ文様タペストリーをJRタワー1階西コンコース、札幌駅前通地下歩行空間、札幌市役所本庁舎1階ロビー等に設置している。

令和4年度においては、公募した市民20名がアイヌ刺しゅう作家5名による指導のもと、タペストリーを共同制作した。民間施設への設置に向けて調整中。



4 「イランカラプテ」キャンペーンの推進

公共空間等を活用して、国や北海道と連携して取り組む「イランカラプテ」キャンペーンを継続して展開した。

キャンペーンの一環として、市役所本庁舎1階ロビーのタペストリー展示什器に、キャンペーンの大型フィルムシートを継続して設置している。

5 アイヌ文化を発信する空間の管理運営

平成31年3月に供用を開始した「アイヌ文化を発信する空間（ミナパ）」を活用し、アイヌ文化への理解を深めるきっかけづくりや、リーフレット等の配架により、道内のアイヌ関連施設の情報発信を行った。



6 札幌市アイヌ文化PRコーナーの設置

令和3年11月にサッポロファクトリー3条館1階に札幌市アイヌ文化PRコーナーを開設し、パネル「札幌の地名とアイヌ民族」や民族衣装等を展示している。

また、ディスプレイを設置し、アイヌ文化交流



センターのPR映像を放映している。

7 埋蔵文化財センターにおける展示（市民文化局 文化部）

埋蔵文化財センターにおいて、アイヌ文化期の鉄鍋などの出土資料を展示している。



8 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク（環境局環境都市推進部）

アイヌ文化交流センターを「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」の活動拠点の一つとして位置付け、「オンラインクイズラリー」を実施し、アイヌ民族の伝統文化や自然観の普及啓発を行った。

※ 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク

平成25年3月に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、市内にある既存の環境関連施設を生物多様性に関する活動拠点として位置付け、ネットワーク化を図るもので、活動拠点間の情報の共有や連携・協働を進めることにより、生物多様性保全の取組を効果的に進めることを目的としている。

アイヌ文化体験講座

講座名		実施日	講師	受講者	会場	
1	アイヌ文様刺繍	カパラミツのタペストリー	6/5 日	2人	20人	交流セ
2		ルウンペのタペストリー	7/9 土	2人	17人	交流セ
3		マタンプシ	7/24 土	2人	12人	交流セ
4		チヂリのタペストリー	8/18 木	1人	10人	交流セ
5		アイヌ文様入りマスクケース	9/10 土	1人	6人	交流セ
6		アイヌ文様入り手帳カバー	10/22 土	2人	11人	交流セ
7		カパラミツのタペストリー	12/25 日	2人	18人	白石セ
8		ルウンペのタペストリー	1/22 日	2人	16人	西区セ
9		チヂリのタペストリー	2/19 日	2人	20人	北区セ
【刺繍 計】				16人	130人	
10	編み物	サラニツ風小物入れ	11/27 日	2人	17人	中央セ
【編み物 計】				2人	17人	
11	木彫り	鎖彫りの箸	6/18 土	1人	9人	交流セ
12		木彫りミニお盆	8/28 日	1人	9人	交流セ
13		ペラパスイ	11/12 土	1人	7人	交流セ
【木彫り等 計】				3人	25人	
14	講義等	アイヌ文化を学ぶエコツアー	5/14 日	1人	17人	北大
15		アイヌ民族の歴史と文化	7/28 8/4 木	1人	10人	中央セ
16		アイヌ文化を学ぶエコツアー	10/1 土	1人	20人	北大
【講義等 計】				3人	47人	
合計				24人	219人	

推進施策2：アイヌ民族の歴史の尊重と教育施策の充実

1 小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、小中高校生に伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を実施した。令和2年度から、送迎バスを無料で運行。

年度	参加校数	参加者
H30	48校	3,258人
R1	55校	3,715人
R2	53校	3,989人
R3	58校	4,204人
R4	75校	5,600人



2 小中高校生団体出前体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターに来館しての体験プログラムの実施が困難な学校に向いて、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験等を実施した。

年度	参加校数	参加者
H30	28校	2,298人
R1	35校	2,520人
R2	59校	4,376人
R3	65校	4,835人
R4	62校	4,518人

3 民族教育の充実（ムックリ体験等）

アイヌ民族の歴史・文化等への興味・関心を高めるために、伝統楽器「ムックリ（口琴）」の体験機会を提供した。

実績：ムックリ7,693個を体験プログラム等に参加した各学校に配布

4 新任課長職への研修の実施

新任課長を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や人権に関する状況、国の動向等について研修を実施した。【市職員研修】

開催日：令和4年12月14日（水）～15日（木）

各日の午前・午後に1回ずつ実施（計4回）

開催場所：札幌市アイヌ文化交流センター

参加者：300名

5 新採用職員への研修の実施（総務局自治研修センター）

新採用職員を対象として、アイヌ民族の歴史やアイヌ民族を取り巻く人権に関する研修を実施した（動画研修型）。【市職員研修】

開催日：令和4年4月5日（火）、8日（金）、10月5日（水）

開催場所：自治研修センター及び北海道自治労会館 参加者：374人

6 eラーニング教材の提供

アイヌ民族に対する配慮をより適切に行っていくため、歴史・文化、近年の動き、札幌市の取組などを学習するeラーニング教材を引き続き提供した。【市職員研修】（令和4年度受講者数：51名）

7 市制100周年記念事業の実施にあたっての研修（総務局行政部・市民文化局市民生活部）

記念事業の実施にあたり、アイヌ民族についての理解を深めることを目的とした研修を行った。【市職員向け研修】

実施期間：令和4年6月6日（月）～6月7日（火）

実施場所：札幌市役所本庁舎12階2～4号会議室（参加者65名）

8 区役所職員特別研修（市民文化局市民生活部）

区役所の職員が、先住民族であるアイヌ民族について理解し、より適切な配慮を行いながら事業を実施できることを目的とし、受講者は地域振興、広報等に携わる役職者を中心にして実施した（計65名受講）。【市職員向け研修】

実施期間：令和4年9月20日（火）・9月21日（水）

実施場所：札幌市民ホール（カナモトホール）2階 会議室

9 民族教育に関する研修会（教育委員会学校教育部）

学校において、アイヌ民族に関する教育及び人権教育の充実を図ることを目的とし、アイヌ民族の歴史・文化等に関する指導事例の交流や、アイヌ民族に関する教育のあり方についての意見交流を行った。【市職員（教職員向け）研修】

開催日：令和4年8月26日（金）

開催場所：札幌市アイヌ文化交流センター（参加者12名）

10 教育センター専門研修（教育委員会学校教育部）

受講を希望する教職員に対して、アイヌ民族の文化や民族教育に関わる研修を実施した。【市職員（教職員向け）研修】

- ・専門研修「人権教育1 ～ウポポイ見学～」

実施日：令和4年8月9日（火）

参加者：22名

- ・専門研修「人権教育2 ～アイヌ文化～」

実施日：令和5年1月10日（火）

参加者：12名

11 人権教育推進事業（教育委員会学校教育部）

「札幌市学校教育の重点」に位置付けている「人権尊重の教育」について、人間尊重の教育に向けた3つの視点（「教師自らの人間尊重の意識の向上」、「校種間の連携による連続性のある人間尊重の教育に向けた取組の推進」、「子ども自身が自分を振り返り、人間尊重の意識の高まりに気付く手立ての構築」）に基づいた推進と充実を図った。【市職員（教職員向け）研修】

(1) 研究推進校における実践研究の実施

ア 学校におけるアイヌ文化体験学習

(ア) 小学校3校、中学校3校、特別支援学校1校において、体験的な学習の実践研究を実施

(イ) 研究推進校における実践資料を市内の学校に提供

イ アイヌ民族伝統楽器であるトンコリを購入

令和5年度から希望のある学校へ貸出

12 さっぽろ市民カレッジ 学社融合講座（教育委員会生涯学習部）

アイヌ民族の歴史や文化などを学ぶことを目的に、2講座を開講した。

【市民向け研修】

(1) まちなかで触れるアイヌ文化（全6回）

対 象：一般市民、大通高校生徒

受講者数：7人（一般受講生3名、高校生4名）

講座内容

- ・ アイヌ文化を学ぶということ
- ・ 現地学習 札幌とアイヌ文化（清華亭）
- ・ 高校歴史教科書で見る北海道とアイヌの歴史
- ・ アイヌ民族の歴史①（明治時代以前）
- ・ アイヌ民族の歴史②（明治時代以降）
- ・ 現代のアイヌ文化と今後の課題

(2) アイヌの文化を広めた少女『知里幸恵』～アイヌ神謡集が伝えるもの～全2回）

対 象：一般市民

受講者数：30人

講座内容

- ・ 知里幸恵の生涯をたどる～アイヌ神謡集が生まれるまで～
- ・ アイヌ神謡集を読み解く～民族の世界観に浸る～

13 図書展示「知里幸恵没後百年ミニ展示」（教育委員会中央図書館）

中央図書館において所蔵資料を広く紹介するため、話題となっているテーマの関連書籍を展示。NHK地上波テレビ番組「100分で名著」内で「アイヌ神謡集／知里幸恵」を放送することに合わせ、アイヌ文化に関連する書籍や知里幸恵氏の略年表の展示を行い、関連書籍の貸出しの促進と、来館者へアイヌ文化への興味関心を持ってもらうきっかけづくりを行った。

実施期間：令和4年8月25日（木）～10月11日（火）

実施場所：中央図書館2階図書室内

小中高校生団体体験プログラム（小学校 137 校の区ごとの内訳）

【体験プログラム+出前体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	12	17	13	13	11	18	12	18	15	8	0	137
参加率	75.0%	56.7%	46.4%	65.0%	84.6%	81.8%	80.0%	94.7%	75.0%	50.0%	0.0%	67.8%

【体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	5	5	6	4	6	15	2	17	10	5	0	75
参加率	31.3%	16.7%	21.4%	20.0%	46.2%	68.2%	13.3%	89.5%	50.0%	31.3%	0.0%	37.1%

【出前体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	7	12	7	9	5	3	10	1	5	3	0	62
参加率	43.8%	40.0%	25.0%	45.0%	38.5%	13.6%	66.7%	5.3%	25.0%	18.8%	0.0%	30.7%

小中高校生団体体験プログラムの変遷

平成 17 年度 小中高校生団体体験プログラム開始

平成 28 年度 小中高校生団体体験プログラムのバス費用一部負担開始

小中高校生団体出前体験プログラム開始

令和 2 年度 小中高校生団体体験プログラムの無料送迎バス開始

ムックリ無料配布開始

施策目標 3 : 体験・交流の促進

推進施策 1 : 札幌市アイヌ文化交流センターの魅力創出

1 アイヌ文化交流センターの運営

アイヌ文化の保存・継承・振興や、市民理解の促進を図るため、アイヌ文化交流センターで各種事業を行った。

- (1) アイヌ文化体験講座【P2、5】
- (2) アイヌ文化交流センターイベント【P12】
- (3) アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）【P13】
- (4) 小中高校生団体体験プログラム【P6、10】
- (5) 小中高校生団体出前体験プログラム【P6、10】
- (6) wi-fi の運用
- (7) 多言語による展示物説明



ポケットク（音声翻訳機 6 台、対象言語 50 以上）と展示ガイドアプリ（ポケット学芸員）の運用

- (8) アイヌ食文化の発信

レストコーナーに設置した 2 台のディスプレイにより、身近な「食」からアイヌ文化への興味を喚起するための動画を放映

アイヌ文化交流センターの利用状況

年度	開館日数	来館者数	展示室観覧者数
H30	294 日	55,083 人	26,663 人
R 1	270 日	58,241 人	28,494 人
R 2	256 日	26,930 人	10,952 人
R 3	201 日	13,243 人	9,339 人
R 4	288 日	28,458 人	18,802 人

2 アイヌ文化交流センターの機能の充実

展示物解説動画(21種)を制作し、展示室内で閲覧できるよう機器を設置した。

また、大型ディスプレイによる館内案内システムを構築し、設置した。

3 アイヌ文化交流センター中庭のリニューアル

身近な「食」からアイヌ文化への興味を喚起するため、アイヌ文化交流センター内のライトコート（中庭）を、アイヌ料理に用いる自然素材などの見学スペースとしてリニューアルするための整備を行った。

また、家庭できるアイヌ料理のレシピ動画（12本）を制作した。（令和5年度に順次公開）

4 展示物の更新等

老朽化した家屋（ポンチセ）の建て替えを実施した。また、建替えの様子を撮影し、編集した動画をアイヌ文化交流センター内で放映している。

5 アイヌ文化体験コーナーの設置・運営

アイヌ文化交流センターの来館者が気軽にアイヌ文化に触れることができるよう、30分程度の時間で木彫りや刺しゅう、民族衣装の試着を行うコーナーを令和4年5月17日に開設した。

実施日数	コーナー参加人数			
	刺しゅう	木彫り (コースター)	ストラップ	民族衣装体験
251日	518人	619人	462人	2,891人

推進施策2：アイヌ文化の体験・交流の機会創出

1 アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、古式舞踊、切り絵製作体験、昔遊び等を実施した。

年度	開催回数	参加者
H30	6回	1,274人
R1	6回	1,464人
R2	中止	-
R3	中止	-
R4	15回	880人



2 アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来館者等によるアイヌ民族の古式舞踊（輪踊り）の体験を予定していたが、令和4年度においても新型コロナウイルス感染予防のため中止した。



年度	開催回数	参加者
H30	1回	153人
R1	1回	103人
R2	中止	-
R3	中止	-
R4	中止	-

3 アシリチェプノミ保存伝承事業への補助（市民文化局文化部）

アイヌ民族の伝統儀式であるアシリチェプノミ（新しい鮭を迎える儀式）に対する補助を行い、市民理解の輪を広げるとともに、アイヌ文化を保存・継承する取組を支援した。

開催日：令和4年9月11日（日）

開催場所：豊平川河川敷（南7条大橋上流左岸）

参加者：100人

4 札幌市制100周年記念事業（総務局行政部）

令和4年8月1日に市制100周年を迎えるにあたり、札幌文化芸術劇 hitaru にて執り行った記念式典の中で、札幌大学ウレシパクラブの協力のもと、アイヌ舞踊を披露した。

開催日：令和4年7月31日（日）

来場者：1,666人

5 区制50周年記念事業 南区芸術祭2022 ミンナミニイク ミナミナク（南区市民部）

区制50周年記念事業として、南区ゆかりのアーティスト参加のもと、真駒内駅周辺、石山緑地など南区各地でアート作品を展示、音楽イベント、演劇、ワークショップなど様々なアートイベントを実施。演劇ではアイヌ神話から着想を得た演目を開催、石山緑地で行った音楽イベントではトンコリや創作ユーカ

ラを奏でるなど、幅広い世代にアイヌ文化の魅力を発信した。

開催期間：令和4年9月3日（土）から同月25日（日）

施策目標4：産業等の振興

推進施策1：アイヌ文化のブランド化の推進

1 工芸品等の定期販売会の実施

工芸品の常設販売店の設置に向けて、工芸品の供給体制の強化や人材育成・担い手の確保を目的として、工芸品の販売会を札幌駅前通地下歩行空間、サッポロファクトリー、札幌PARCO、紀伊國屋書店札幌本店にて開催した。

開催期間、購買者等

年月	開催場所	期間	購買者 (人)
R4.8	札幌駅前通地下歩行空間	8月1～7日(7日間)	350
R4.9	サッポロファクトリー	各土日(8日間)	73
R4.10	札幌駅前通地下歩行空間	10月4～10日(7日間)	193
R4.11	サッポロファクトリー	各土日(8日間)	51
R4.12	札幌PARCO	12月15～18日(4日間)	39
	札幌駅前通地下歩行空間	12月23～28日(6日間)	147
R5.1	サッポロファクトリー	各土日(8日間)	10
R5.2	紀伊國屋書店札幌本店	2月4～9日(6日間)	31
	札幌駅前通地下歩行空間	2月22～28日(7日間)	196
R5.3	サッポロファクトリー	各土日(8日間)	17
延べ購買者数			1,107

2 アイヌ文化のブランド化推進

主に国外向け（インバウンド需要の喚起）に、札幌市を舞台とした短編映画「トゥムシ」を制作。SNS、国外映画祭、札幌市内・新千歳空港サイネージ等で発信した。



推進施策 2：アイヌ文化に関する観光プロモーションの推進

1 ウポポイを活用したアイヌ文化の発信

アイヌ民族に関する理解の促進に向け、アイヌ文化交流センター及びウポポイを訪れる観光プロモーションとして、バスツアーを計 29 回実施した。

開催期間：令和 4 年 9 月 24 日（土）から令和 4 年 12 月 11 日（日）

参加者数：465 人

2 「シーニックバイウェイ北海道」との連携（南区市民部）

南区内の約 40 団体（連合町内会、商店街、大学、集客施設等）により構成され、南区の魅力アップと PR を行っている「札幌シーニックバイウェイ」の活動を支援した。

取組の一環として、アイヌ文化交流センターが掲載されている札幌シーニックバイウェイ作成のパンフレット「感動・寄り道 GUIDE」を南区内の公共施設等に配布した。

施策目標 5：生活関連施策の推進

推進施策 1：生活環境等の整備

1 住宅新築資金等の貸付

アイヌ民族の居住環境の整備・改善のため、住宅の新築・改修、宅地取得等の資金を準備した。

(1) 貸付実績：なし

2 アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置（市民文化局市民生活部・教育委員会学校教育部）

アイヌ生活相談員2名、教育相談員1名を配置し、各種相談に対応した。

(1) 生活相談員相談件数：1,543件

（生活相談802件、教育相談28件、職業相談51件、その他相談852件）

(2) 教育相談員相談件数：508件

3 アイヌ民族の児童・生徒への学習支援

夏休み・冬休み期間にアイヌ民族の児童・生徒に対し、学習支援を行った。

(1) 開催日：夏季 令和4年8月3日～7日（5日間）

冬季 令和5年1月8日～12日（5日間）

(2) 開催場所：札幌市共同利用館

(3) 参加者：延べ18人